

「選考につながるインターンシップに参加したい」と回答した学生が9割を超える。「仕事内容や企業の雰囲気を理解して、選考に臨めるのであれば、ぜひ参加したい」の声/2024年卒対象アンケート

株式会社学情は、2024年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、就職活動に関するインターネットアンケートを実施。今回は、「インターンシップと選考の連携」をテーマに調査しました。選考につながるインターンシップについて、「参加したい」と回答した学生が91.1%に上りました。多くの学生が、選考と連携しているインターンシップへの参加を希望していることが分かります。「インターンシップで仕事内容や企業の雰囲気を理解した上で、選考に臨めるのであれば、ぜひ積極的に参加したい」「もともと、志望する企業のインターンシップに参加したいと考えているので、インターンシップと選考が連携していると嬉しい」などの声が上がりました。

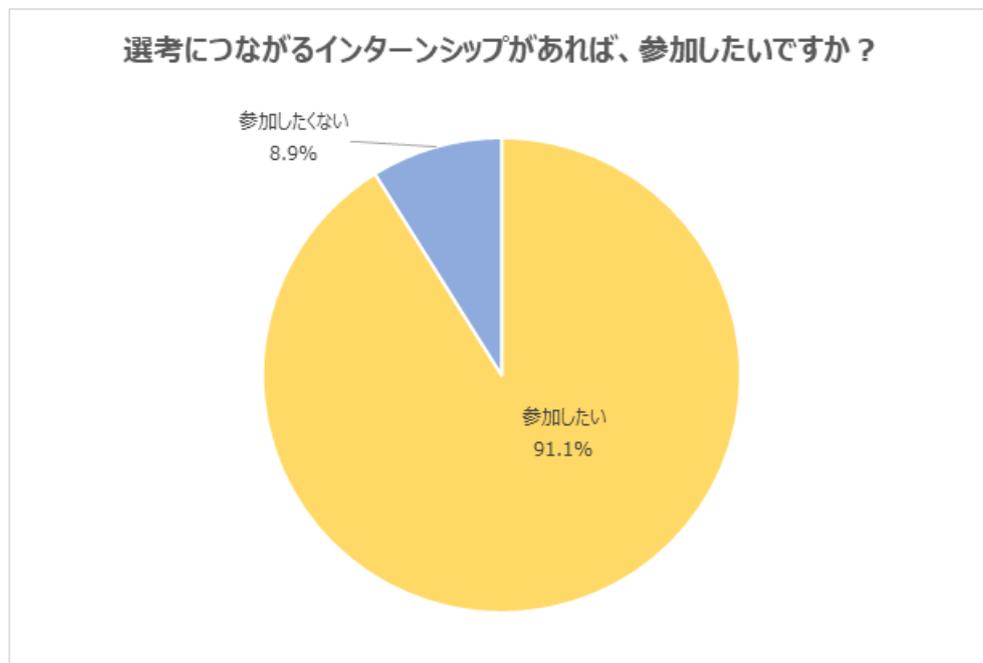
【TOPICS】

- (1) 「選考につながるインターンシップがあれば、参加したい」と回答した学生が9割を超える
- (2) インターンシップで希望する参加日数は「2日～3日間」が47.8%最多。次いで「5日間」22.4%

【調査の背景】

政府は、仕事を体験するインターンシップでの学生の評価を、企業が選考で利用することを容認する方向で、ルールの見直しを検討しています。インターンシップでの評価を採用で利用するのは、「5日間以上」でかつ、半分以上を「就業体験」が占めるなど、一定の条件を設けることが想定されています。実際に利用解禁となるのは、2025年卒（2024年度卒）からの予定ですが、「インターンシップと選考の連携」「参加日数」について、学生はどのように受け止めているのか調査しました。

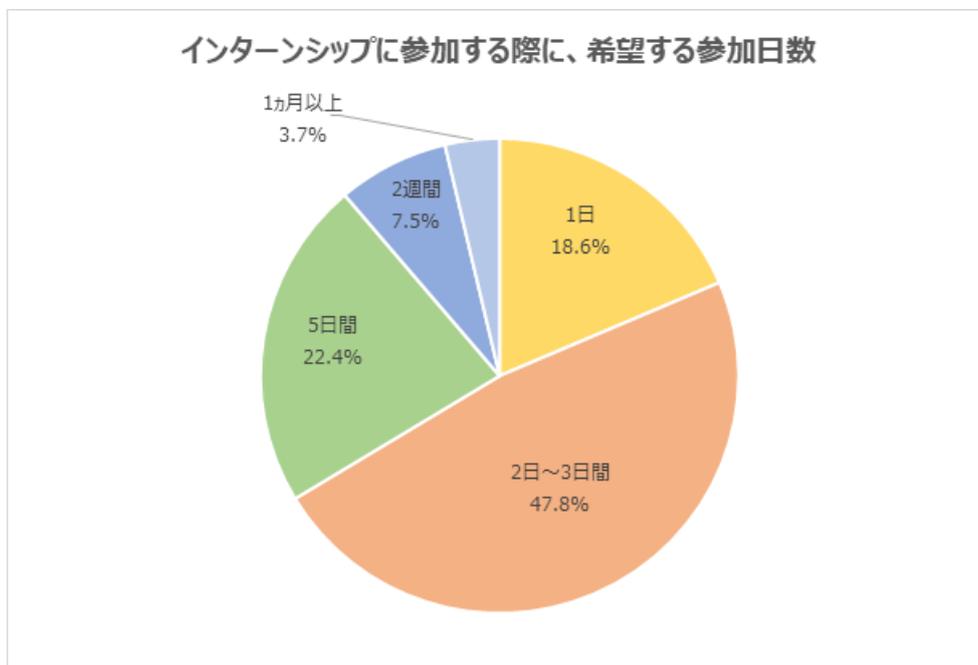
- (1) 「選考につながるインターンシップがあれば、参加したい」と回答した学生が9割を超える



選考につながるインターンシップについて、「参加したい」と回答した学生が91.1%に上りました。多くの

学生が、選考と連携しているインターンシップへの参加を希望していることが分かります。「インターンシップで仕事内容や企業の雰囲気を理解した上で、選考に臨めるのであれば、ぜひ積極的に参加したい」「もともと、志望する企業のインターンシップに参加したいと考えているので、インターンシップと選考が連携していると嬉しい」などの声が上がりました。

(2) インターンシップで希望する参加日数は「2日～3日間」が47.8%最多。次いで「5日間」22.4%



インターンシップに参加する際に、希望する参加日数は「2日～3日間」が47.8%で最多。次いで「5日間」22.4%が続きました。

▼分析

学生は複数のインターンシップへの参加を希望する傾向のため、「2日～3日間」や「5日間」が回答を集めたと考えられます。政府は、2025年卒（2024年度卒）の学生から、「5日間以上」で、かつ半分以上を就業体験が占めるインターンシップを対象に、インターンシップでの評価を利用解禁する方向で検討しています。インターンシップと選考が連携されるようになれば、連携の対象となる「5日間以上」のインターンシップに参加を希望する学生の割合はより増えると想定されます。

■調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2024（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・調査方法：Web 上でのアンケート
- ・調査期間：2022年4月25日～2022年4月28日
- ・有効回答数：619名

つくるのは、未来の選択肢

学情
GAKUJO
東京プライム上場

45
YEARS
ANNIVERSARY
おかげさまで、創業45周年

あさがくナビ
10820003(12)